

じゅうたんスピーカの音質評価

- 高音質じゅうたんスピーカの開発 (H21) -

愛媛県産業技術研究所 技術開発部 主任研究員 仙波 浩雅

タイムドメインスピーカ*の一種として注目を集めている愛媛発の新たなタイプのスピーカ、“じゅうたんスピーカ”の構造に対する音質特性を明らかにするため、じゅうたん巻数や高さ等に対する音質評価の研究を実施しました。

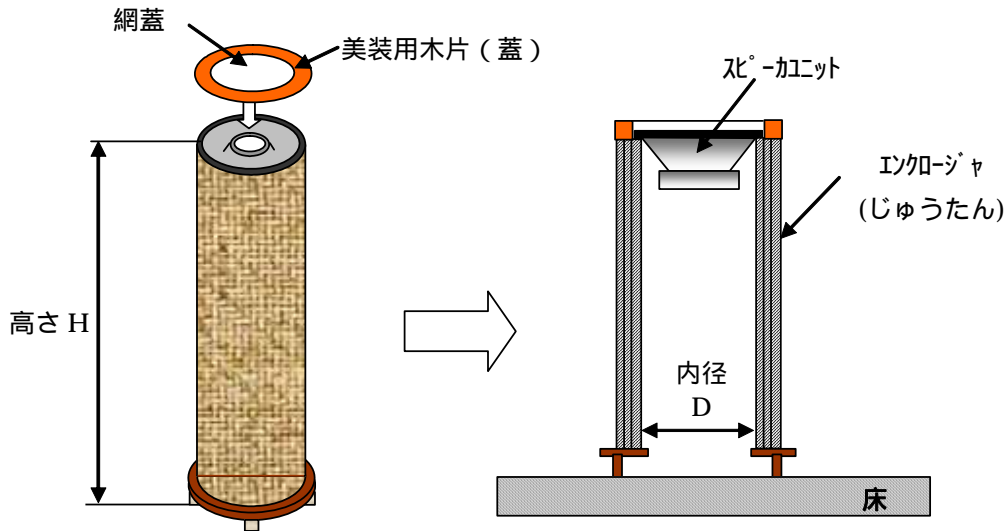


図1 じゅうたんスピーカの構造

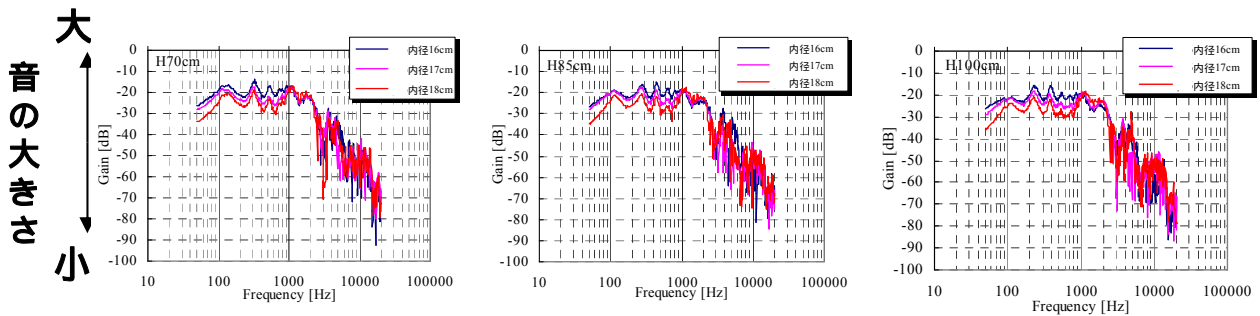


図2 じゅうたんスピーカ下部空洞から放射される音の周波数特性分析結果

***タイムドメインスピーカ:**
時々刻々と変化する音の波形を、忠実に再生しようとする観点から設計されたスピーカ（構造物の共振等を抑止したスピーカ）

良好な音（自然な音）

タイムドメイン型スピーカ

⇔

従来型スピーカ

研究の結果、スピーカ巻数や高さは、じゅうたんスピーカの低中周波数域の音質に大きな影響を及ぼしていることがわかりました。